

# 今、暴走族に入っているあなたへ

初めてこの世に生まれてきたあなたを見たお父さんやお母さんが、どんなにうれしくいとしくかわいく思ったかわかりますか？

あなたのお父さん、お母さんがあなたを世の中で一番大切に思い、健やかに、幸福に育てて欲しいと願い、どんなに一生懸命、名前を考えたことでしょう。

成長とともに同年代の子どもたちとグループをつくって遊ぶのは自然の流れです。今、暴走族に入っているのは、家庭に居場所がないからですか？学校がつまらないからですか？あなたにもいろいろな悩みがあるかもしれません。

でも、暴走族は本当にあなたの居心地の良い居場所ですか？

あなたのしていることはどうでしょうか？

あなたはただおもしろ半分爆音を立てて走り回っているのかもしれませんが、多くの人たちは危険を感じています。そして、何より、あなたにとって危険な行為なのです。

高校総体で競技を妨害したり、警察署に集団で押しかけたり、集団で傷害事件を起こしたり。あなたたちの行為はだんだん見境がなくなっています。

暴走、恐喝、暴力、窃盗・・・やってはいけないことだと知っていても、暴力団やリーダーの命令はゼツタイで、やらざるをえなくなります。そして、一度暴走族にはいってしまえば、簡単にはやめられません。やめるために、お金を払ったり、集団で暴行されケガを負った人もいます。人を殺めてしまってからでは、取り返しがつきません。どれほど謝っても、後悔しても遅いのです。

今、あなたがいる道はお父さんやお母さんが願った幸福の道ですか？

「逮捕された息子のことを思い出しては心配になり、涙を流している」のです。あなたはお父さんやお母さんにとって「大切な宝物」です。

若いあなたには可能性があふれています。ときおり見せるあなたの笑顔には救いを感じます。「自分の命」「他人の命」を大切にしてください。

まだまだ、方向転換は可能です。違う道を選んでみませんか。新たな未来に希望を持ちましょう。まだ、間に合います。

そのために手を差し伸ばしてくれる人は、あなたのまわりに大勢います。一人一人がかけがえのない存在なのですから・・・

青少年の非行・被害防止県民大会に寄せて

山梨県警察本部

# そして大人のみなさんへ

～ すべては子どもたちの将来のために ～

暴走族少年の親の話から

- ◇夫婦でケンカをするようになった頃から、生活が乱れはじめ、仲間と遊び歩いたり、学校をサボるようになりました。
- ◇電話しても出なかったり家に帰ってこなかったり、家族が寝ている深夜に帰ってくる事が多く、会話がなくなっていきました。
- ◇もっと、家族が協力して面倒を見ていれば、事件を防ぐことができたかもしれません。
- ◇今は息子の言葉を信じて、これから更生していくのを信じ、親としてそれを支えていきたいです。

暴走族少年の話から

- ◇お父さんが叱ると反省しているふりをしていた。
- ◇はじめは母さんに怒られたが、もうあきらめたみたい。
- ◇親がケンカしている家にはいたくなくて、毎日夜遊びをしていた。
- ◇少年院から出てきたばかりの頃は、もう悪いことはしないと信じたが、不良仲間と遊ぶのはやはり楽しい。
- ◇一応俺の母親なので一緒に住んでいたが、俺はお母さんに対して特に興味はない。

お父さんお母さん

- ◇もっと、子どもとしっかり向き合しましょう。
- ◇子どもとの対話を欠かさないで下さい。
- ◇決して見はなさないで下さい。

先生

- ◇子どもたちそれぞれの学校生活を充実させてやることのできるの、先生たちしかいません。
- ◇あきらめないで導いて下さい。みんなが期待し、応援しています。

地域

- ◇子どもは宝。近所の子どもは皆さんも育ての親です。
- ◇厳しくも暖かく見守り、声をかけてあげて下さい。
- ◇子どもとのつながりを大切にして下さい。

**警察では、暴走行為や犯罪行為を見逃しません。**

**一人一人のこんな思いが一つになれば、きっと大きな大きな川になって**

**子どもたちに伝わるはず。今からはじめましょう。**